

### 3 中学校 美術科 問題用紙

(4枚のうち1)

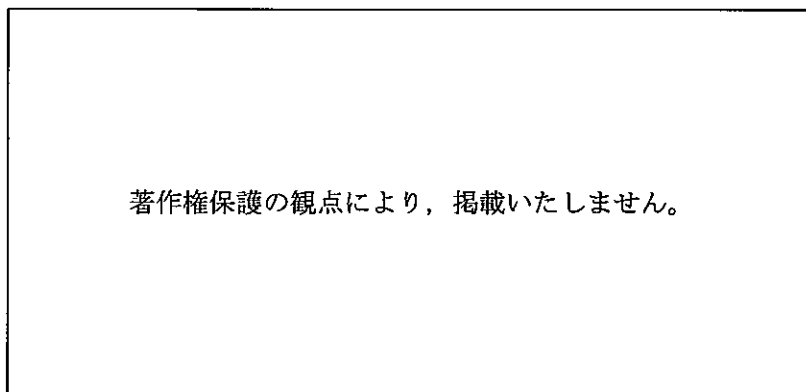
受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1～3に答えなさい。

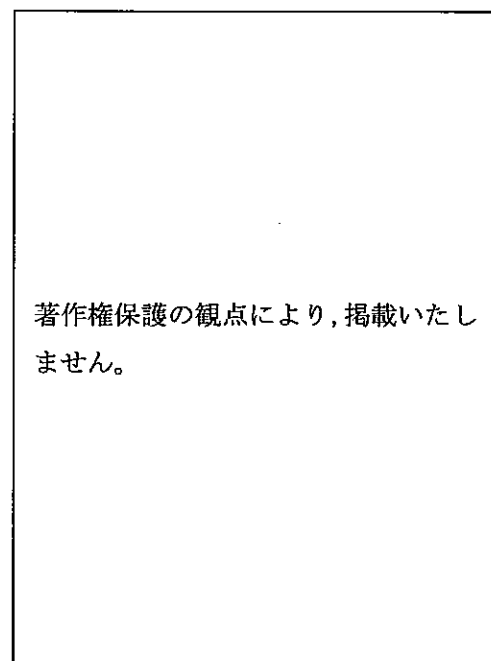
1 次の(1)・(2)は、広島県を代表する作家の作品です。これらの作品を制作した作家は、それぞれ誰ですか。その人物名を書きなさい。また、それぞれの作家の作風について生徒に説明することとします。どのように説明しますか。簡潔に書きなさい。

(1)



作品名〔楼蘭遺跡を行く・月〕

(2)



作品名〔青い鳥〕

2 次の(1)～(3)は、美術に関わる技法です。それはどのような技法ですか。それぞれ簡潔に書きなさい。

(1) ドライポイント (2) 破墨法 (3) 薬研彫り

3 次の(1)～(3)は、20世紀の絵画運動や芸術動向についての説明です。これらの絵画運動や芸術動向を何と言いますか。下のa～hの中から最も適切なものをそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(1) アンリ・マティスやモーリス・ド・ヴラマンクらによってフランスで始められた絵画運動。色彩の再現的描写にとらわれず、直接感覚に訴える表現を特徴とした。

(2) パブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックによって創始され、多くの追随者を生んだ芸術動向。それまでの具象絵画が一つの視点に基づいて描かれていたのに対し、いろいろな角度から見た物の形を一つの画面に収める表現を特徴とした。

(3) アンディ・ウォーホルやロイ・リクテンスタインを代表作家とする、商業的な大衆社会のイメージを芸術として取り上げた芸術動向。日常誰もが目にする大衆的なイメージや製品を素材として扱うことを特徴とした。

a アール・ヌーヴォー	b フォーヴィズム	c シュルレアリスム	d メディア・アート
e キュビズム	f ポップ・アート	g 抽象表現主義	h コンセプチュアル・アート

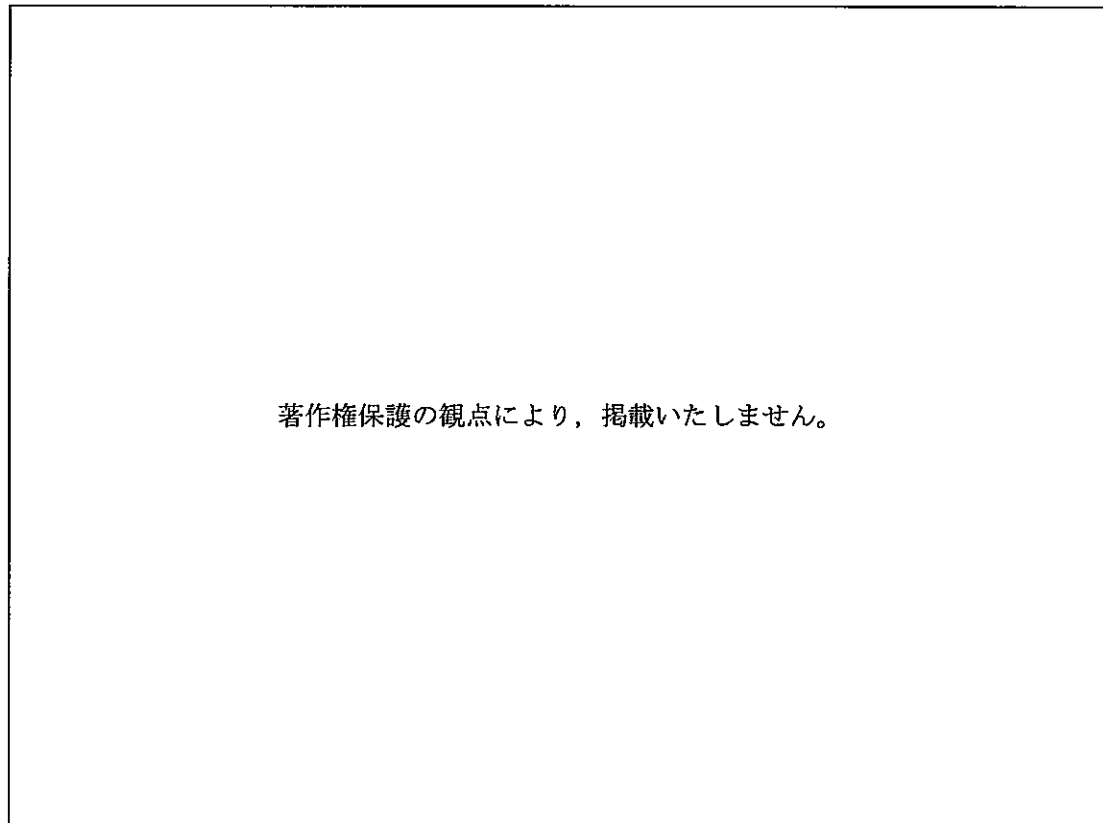
### 3 中学校 美術科 問題用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 2 第2学年において、「想像の世界」をテーマとして絵画を制作する学習を行うこととし、生徒が「想像の世界」を発想したり構想したりする際の手立てとして、次の作品を授業の導入において提示することとします。これに関して、下の1・2に答えなさい。



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

作品名 [記憶の固執] 作者名 [サルバドール・ダリ 1904~1989]

- 1 この作品には、「想像の世界」をつくりだすための表現の工夫が複数見られます。この作品から生徒に捉えさせたい表現の工夫には、どのようなものがありますか。具体的に2つ書きなさい。
- 2 生徒が「想像の世界」を表現する際には、この作品に見られる表現の工夫の他にも様々な表現の工夫を提示することが効果的です。そのために、参考作品を教師が描いて提示する場合、あなたは、どのような作品を生徒に提示しますか。魚をモチーフとした参考作品を描くとともに、生徒に提示する際に取り入れる表現の工夫について、簡潔に説明しなさい。

### 3 中学校 美術科 問題用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 第3学年において、「自然や身近な環境の中の彫刻」について、次の a~h のアートカードを用い、鑑賞を行うこととします。これに関して、下の1・2に答えなさい。

a	b	c
著作権保護の観点により、掲載 いたしません。	著作権保護の観点により、掲載 いたしません。	著作権保護の観点により、掲載 いたしません。
d	e	f
著作権保護の観点により、掲載 いたしません。	著作権保護の観点によ り、掲載いたしません。	著作権保護の観点によ り、掲載いたしません。
h	g	
著作権保護の観点により、掲載 いたしません。	著作権保護の観点によ り、掲載いたしません。	著作権保護の観点によ り、掲載いたしません。

- 1 アートカードの鑑賞に当たり、次の「アートカード鑑賞のルール」に基づいて行うこととします。「ルール」中の②において、あなたが「出題者」となり、aのアートカードを選んだ場合、あなたは、③の「ヒント1」「ヒント2」「ヒント3」を、それぞれどのように出しますか。簡潔に書きなさい。

<p>「アートカード鑑賞のルール」</p> <p>① 4人から6人のグループをつくる。アートカードを表向きに並べる。</p> <p>② 出題者を1人決め、出題者はアートカードの中から1枚選ぶ。</p> <p>③ 出題者は、造形要素を踏まえた「ヒント」を以下の条件で順番に3つ出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒント1」…アートカードが半分に絞られる。</li> <li>・「ヒント2」…アートカードがさらに半分に絞られる。</li> <li>・「ヒント3」…アートカードが1枚に特定できる。</li> </ul> <p>④ 出題者以外のメンバーは、3つの「ヒント」を聞き、「ヒント」から予測されるアートカードを一斉に指差す。</p> <p>⑤ 出題者を交代して、同じように進める。</p>
--

- 2 生徒Aから「先日、テレビでbの彫刻が映っているのを見ました。bの彫刻だけでなく、これらのアートカードの彫刻は、なぜ美術館の外に置かれているのですか。」と質問されました。「自然や身近な環境の中の彫刻」の働きを踏まえると生徒Aに対してどのようなことを理解させる必要がありますか。また、その際の指導方法としてどのようなことが考えられますか。理解させることと指導方法のそれぞれについて、簡潔に2つずつ書きなさい。

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

4 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 美術 について、次の1・2に答えなさい。

1 次の文は、第1 目標 を示したものです。このように目標が改善されたのは、美術科の改訂の方向性がどのように示されたことによりますか。簡潔に2つ書きなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 次の文は、各学年の目標及び内容 [第1学年] 2 内容 B 鑑賞 (1) ア を示したものです。このうちの (ア) と (イ) では、取り扱う作品が異なります。(ア) と (イ) の指導事項を身に付けさせるためには、それぞれどのような作品を取り扱うこととされていますか。それぞれ簡潔に書きなさい。

(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。

ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- (イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

5 ボールを持った手を想像し、鉛筆で陰影をつけて、立体感や質感が現れるようにデッサンしなさい。

3

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
1	1	人物名		
		(1) 作風		
		人物名		
		(2) 作風		
	2	(1)		
		(2)		
	3	(1)		
		(2)		
(3)				
2	1			

3

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
2	2	参考作品	
		表現の工夫	

3

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1	ヒント1	
		ヒント2	
		ヒント3	
	2	理解させること	
		指導方法	
4	1		
	2	(7)	
		(1)	

3

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄
5	